広報にしはら

発行
西原町役場
〒903-01
西原町字嘉手苅112番地
電話（09894）−5−4533
印刷
（協）丸正印刷

都留市より国体旗引継ぐ

国体成功を誓い固い握手

都倉昭二市長より国体旗を引き継ぎ海邦国体の成功を誓う平安恒政町長＝**２月17日、町中央公民館にて**

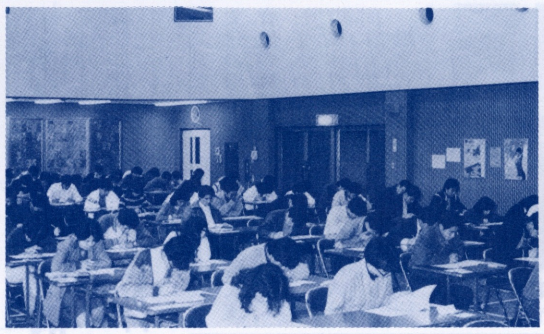
第42回国民体育大会西原町実行委員会（平安恒政会長）では、二月十七日午前十時半より町中央公民館において、昨年、国民体育大会が開催された山梨県都留市よりの国体旗引継式を行った。

引継式には、平安恒政町長はじめ親泊町議会議長、町老ク会長、町婦人会長、町商工会長、町役場役職員約三十名が参加、都留市より国体旗引継の為来町の都倉昭二市長外四名を歓迎した。

式は、小川町助役の開会のことばで始まり、平安町長、親泊町議会議長歓迎のあいさつ、都倉都留市長による都留市民よりのメッセージのあと国体旗が都倉市長より平安町長の手に渡され、都留市長のあいさつ、記念品の贈呈を行った後、都留市での国体取り組みや本町での国体に向けての状況等について情報交換を行い歓談を深めた。

平安町長は、歓迎あいさつの中で、「都留市においては、〝ふれあいの輪をひろげよう〟をテーマに市民の英知と総力を結集し第41回国民体育大会（かいじ国体）を見事に成功されました。本町も都留市にあやかり、本県での海邦国体における成年男子バスケットボール競技大会の成功に向け頑張りたいと思いますので都留市での貴重な体験をご指導お願いします。」とあいさつ。

国体旗引き継ぎ式の後、あいさつを述べる、**都倉昭二都留市長**



百十二人が挑戦

町職員採用試験

昭和六十二年度町職員採用試験が、二月一日午前九時半より町中央公民館で行われ、一般事務職に八十五人、保母職に二十二人、技術職に五人合計百十二人が受験した。

受験者は、初級教養試験、作文のほか、一般事務職に事務適正検査、技術職に初級専門試験が行なわれ、真剣に試験科目に取り組んだ。

第二次合格者は、昭和六十二年度町職員採用予定者名簿に登載されることになっている。

百十二人が受験した町職員採用試験（二月一日、町中央公民館）＝写真上

61年度町一般会計補正予算など可決

第二回町議会臨時会

昭和六十二年第二回町議会の臨時会が二月十二日に開かれ八件の議案と一件の決議が上程され原案通り可決された。

今回、可決された議案は①昭和六十一年度町一般会計補正予算議決について②昭和六十一年度町国民健康保険特別会計補正予算議決について③昭和六十一年度町水道事業会計補正予算議決について④町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について⑤町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について⑥町教育長の給与、旅費勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について⑦町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について⑧町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についての八件が原案通り可決された。また、米垂直離着陸機ハリアーの基地建設中止と県道一〇四号線越え実弾演習砲座の撤去を求める決議も全会一致で採択された。

町の世帯・人口

（62年１月末現在）

世帯数	6,867世帯
人口	23,374人
男	12,010人
女	11,364人

１月の人口移動

出生	39人	死亡	6人
転入	143人	転出	111人
婚姻	17件	離婚	4件

就業確保と生活保障で

平安町長が町内企業に要請

卒業、就職シーズンを前に町内在住者の優先雇用を要請する平安町長

社会経済変動の激しい昨今、本町は人口増加が著しく県内でもトップの人口急増地域となって来ている。

卒業、就職シーズンを前に平安恒政町長では、就業確保と町民の豊かな生活の保障をめざし、町内企業大手七社を訪問し、町内の新規学卒者、未就業者の若者、体の不自由な者、母子家庭の婦人など町内在住者の優先雇用について要請した。

さらに、町内の各事業所に対しても文書により同様な主旨で要請をした。

緑と花いっぱい運動推進

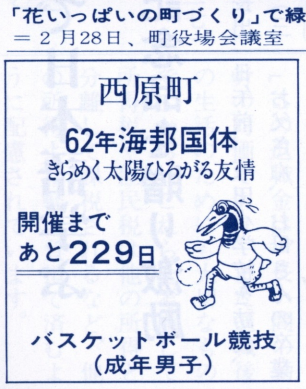
国体緑化講演会

「花いっぱいの町づくり」で緑化講演会＝２月28日、町役場会議室

「花いっぱいの町づくり」を推進しようと第42回国民体育大会町実行委員会（平安恒政会長）では、二月二十八日午後二時より町役場において緑化講演会を開催した。

これは海邦国体を目前にして、地域環境美化を家庭から推進していこうという目的で緑と花をこよなく愛し育てる人づくりをめざすもの。

講演会には、町民六十人余が参加、町花き同好会の宮平光雄顧問や弓削次男会長の花木・草花の土づくりについての講演に熱心に耳を傾けていた。また、受講者全員に対し町花（ブーゲンビリア）、町木（ガジマル）などが無料配布され、緑と花いっぱい運動を推進することになった。



きらめく太陽　ひろがる友情　62年海邦国体を成功させよう

西原町は成年男子バスケットボール競技会場です。

学童保育の必要性で答申

町学童保育検討委員会

城間町学童保育検討委員会委員長より平安町長へ答申案が手渡される

本町では急激な人口増加や都市化現像が進み、社会経済状況の変化に伴い共稼ぎの家庭が増え留守家庭児童が増加しつつあります。そこで町（平安恒政町長）では、昨年九月に町学童保育検討委員会を（城間期一会長）を設置、町内小学校区における幼稚園児から小学校三年生を対象に下校後の生活実態調査をふまえ、「留守家庭児童世帯の学童保育に対する意向調査」を実施、近隣市町村の学童保育実態を視察調査、五回におよぶ委員会審議で慎重なる検討をすすめた。

去る二月、町学童保育検討委員会では町よりの諮問事項に対し、次のような答申結果を提出した。

一、学童保育の必要性について

「留守家庭児童世帯調査等」の実態などを検討した結果、幼稚園から小学校三年生までを対象とする学童保育は必要であり、適切な「学童保育入所基準」を設け、福祉行政と教育行政両者の緊密な連携を必要とする。

二、学童保育の行政的対応

学童保育の実施者は社会福祉法人（保育園）を対象とし受け入れ条件が備っておれば行政は積極的に助成等の方策で対応する必要がある。

三、設置箇所と場所及び定員

社会福祉法人（保育園）を対象とした方向が望ましく、施設設備指導員の問題等の受入態勢及び地域の需要などから十五人～二十人が望ましい。

四、学童保育所の運営方法

実施主体は社会福祉法人とし、行政と協議の上、適切な「運営要項」等を設定し健全な運営が図れるようにする。

五、財政負担について

受益者負担を原則とするが社会福祉法人が新たに学童保育所を設置する場合は、行政は積極的に対応することが必要である。

六、学童保育の実施時期

早い時期の実施が望ましいが、さしあたり受け入れ可能な社会福祉法人より試行的に実施し、年次的に受け入れ条件を整備しながら他の社会福祉法人も実施していくことが望ましい。

七、その他

共稼ぎ家庭が増加している今日学童の健全育成を図るため各小学校区に児童館の建設が早い時期に必要である。

特選に上与那原（西小六年）辺土名（西中一年）さん

町づくり作文募集の審査結果について

二十一世紀を展望する「わが町の将来像について」の作文募集により町民一人ひとりの声を町政に反映させ、「文教のまち西原」建設に役立てようと町主催による作文募集が行われ、小学校百二十三点中学校七十点、高校四点、一般四点合計二百一点の応募作品審査が厳選に行なわれ、次の通り入選作品が決定しました。

【小学校の部】

特選・上与那原新子（西小六年）

入選・新垣　恵（西小五年）
田場早苗（西小六年）

佳作・小禄智代（西原東小六年）
小橋川春美（西小四年）
宇栄原綾香（西小四年）
稲福辰已（西小六年）

奨励賞・花城真理子（西小二年）
たまなはなおみ（西原東小一年）
くによしのり子（西原東小一年）

【中学校の部】

特選・辺土名智子（西中一年）

入選・新里益也（西中三年）
小禄貴子（西中三年）

佳作・伊川正樹（西中一年）
神村高俊（西中一年）
城間　修（西中一年）
玉那覇理奈（西中三年）

【高校の部】

入選・高里瑞愛（西高一年）

【一般の部】

入選・儀間信子、上原義久

☆審査員講評☆

「わが町の将来像について」というテーマで行なわれた作文募集に対し小学校百二十三点、中学校七十点の応募があり関心の高さを示すものとして喜ばしい。反面、高校、一般が各四点にとどまったのは残念だった。

小学校においては、空想的展望が先行し、具体的な夢が描かれてない。

中学校はレベルが高く、展望も具体的で、よく地域の状況、心の問題など取り上げ、中学生らしい作品が多い。

高校生は応募作品も少なく若者らしい構想や文章力が弱く残念だった。

一般学生については、日頃から町政に対する関心の深さが感じられ心強く思ったが、今ひとつ論理的な文章構成に努力してほしい。

最後に、小学生から一般までの応募作品に共通して言えることは「都市化進行のなかの緑の保全の必要性」が強張されており、今後の町政の大きな課題といえる。

◎今回入選された方の作品は次号から連載をしていきます。

町民体育館建設記念碑を贈呈

町民体育館建設十業者

町民体育館建設記念碑の除幕を行う平安町長＝２月20日、町民体育館入口

二月二十日午前、スポーツ教育文化の殿堂として完成した町民体育館の建設を記念し体育館建設にたずさわった十業者より町に対し町民体育館建設記念碑の贈呈式が同体育館前で行われた。

贈呈式には、平安町長はじめ稲福町教育長、関係業者ら約三十名が参列、安全祈願、目録贈呈、平安町長あいさつの後、関係者による記念碑の除幕が行なわれた。

平安町長は、「町民体育館はスポーツ、ふれ合いの場として町民や県民にも高い評価を受けている。今年は海邦国体の成年男子バスケット競技大会も開催されることになっており、関係者の心と汗の結晶として今後の町の発展のため大切に活用したい」と御礼を述べた。

なお、町民体育館建記碑の贈呈十業者は次のとおり、㈾ふくたけ設計事務所、㈾宮里建築設計事務所㈱三善建設、㈱南海建設、㈱大興建設、㈱金秀鉄工、㈱沖電水工事小川電気工業、㈱サン・レイ工業業、朝市設備。

アルゼンチン三姉弟両親の母校で日本語学ぶ

平安町長が記念品を贈り激励

両親の母校に体験入学の三姉弟を激励する平安町長＝２月14日、坂田小学校

町立坂田小学校（田場健造校長）に去る一月二十三日から二月十四日までの約三週間南米アルゼンチンより沖縄二世の三姉弟が体験入学した。

この三姉弟は、本町翁長出身の父、仲宗根純一さん（三七）と同徳佐田出身の母、千代さん（三七）の理美ちゃん（幼稚園児）、直樹君（一年生）美香さん（四年生）三姉弟。

両親とも、坂田小学校の卒業生で、「子ども達を母校に体験入学させたい」というのが夢で、今回、アルゼンチンの夏休み（十二月一日～三月十五日）を利用し母親と里帰り短い期間ではあったけれども町と坂田小学校の厚意により実現した。

平安恒政町長は、二月十四日午前、坂田小学校を訪れ、「お父さん、お母さんの卒業した学校で日本語の勉強をし友達もたくさんできたでしょう。アルゼンチンに帰ってもしっかり頑張って下さい。」と三姉弟に記念品をプレゼントして激励した。

なお、ご両親の仲宗根さんは、西原中学校時代には、生徒会活動や授業において平安町長の指導を受けた教え子でもある。母親の千代さんは、思わぬプレゼントと激励に感謝をしていた。

「期限内納税・青色申告推進の街」を宣言！

「期限内納税・青色申告推進の街」宣言式典が去る二月十日午後三時より北那覇税務団体協議会主催で浦添市で開かれた。これは、北那覇税務署関係の民間団体で構成する同協議会の会員が、西原町、那覇市、浦添市の地域に対して納税意識の高揚と申告納税制度の定着を図り期限内納税の推進を図る目的で開催。

本町より平安恒政町長はじめ町商工会会員が宣言式典及び記念行事の「宣言板除幕式」に参加した。

◀納税意識の高揚を図ろうと「宣言板」の除幕式を行う平安町長（右より４人目）

昭和61年度国民年金保険料（昭和61年４月分～昭和62年１月分）
未納の方は３月31日までに納付して下さい。

固定資産税制度のあらまし（その5）

3．償却資産に対する課税

固定資産評価基準に基づき、取得価額を基礎として、取得後の経過年数に応ずる価値の減少（減価）を考慮して評価します。

●前年中に取得された償却資産

価格（評価額） ＝ 取得価額 ×（1－減価率／2）

●前年前に取得された償却資産

価格（評価額） ＝ 前年度の価格 ×（1－減価率）……a

ただし、（a）により求めた額が、（取得価額×5/100よりも小さい場合は、その償却資産が本来の用に供されている限りは、（取得価額×5/100）により求めた額を価格とします。

固定資産税における償却資産の減価償却の方法は、原則として定率法です。
取得価額……原則として国税の取扱いと同様です。
減価率……原則として耐用年数表（大蔵省令）に掲げられている耐用年数に応じて減価率が定められています。

◎償却資産に対する課税について、国税の取扱いと比較すると次のとおりです。

項目	国税の取扱い	固定資産税の取扱い
償却計算の期間	事業年度	歴年（賦課期日制度）
減価償却の方法	一般の資産は、定率法、定額法の選択制度	一般の資産は定率法
前年中の新規取得資産	月割償却（一定の場合は簡便償却）	半年償却（1/2）
圧縮記帳の制度	認める	認めない
特別償却、割増償却（租税特別措置法）	認める	認めない
増加償却（所得税、法人税）	認める	認める
評価額の最低限度	一般の資産は、取得価額の100分の５ 特定堅ろう構築物は１円	取得価額100分の５
改良費	合算評価	区分評価

（参考）土地や建物などにかかる税金

㊐……国　税　　㊎……道府県税　　㊌……市町村税

- 取得した時
  - ㊎不動産取得税（土地又は家屋を取得した場合）
  - ㊌特別土地保有税（一定規模以上の土地の取得があった場合）
  - ㊐相続税（土地や建物などを相続した場合）
  - ㊐贈与税（土地や建物などの贈与を受けた場合）
  - ㊐登録免許税（土地や建物を登記するとき）
  - ㊌事業所税（2,000㎡を超える事業所用家屋の新増設があった場合）……都の特別区及び人口30万以上の市のみにおいて課税）
  - ㊐印紙税（土地や建物の売買契約書、請負契約書を作成したとき）
- 持っている時
  - ㊌固定資産税
  - ㊌都市計画税
  - ㊌特別土地保有税
  - ㊌事業所税（1,000㎡を超える事業所床面積を使用（借りている時を含む。）して事業を行っている場合……都の特別区及び人口30万以上の市において課税）
- 貸した時
  - 不動産所得に㊐所得税・㊌㊎住民税
  - 権利金（譲渡所得・不動産所得）に㊐所得税・㊌㊎住民税
- 売った時
  - 譲渡所得に㊐所得税・㊌㊎住民税
  - 売買契約書に㊐印紙税

※固定資産税制度のあらまし（おわり）

水事情悪化
節水にご協力を

昭和五十六年～五十七年にかけての長期給水制限以来、国県の水資源確保の努力のお陰で久しく何不自由なく給水されて水道事業経営も安定してまいりましたが、昨年から今年にかけて小雨傾向が続きややもすると前回同様の給水制限も予想され、沖縄県渇水対策本部では、去った二月二十一日、会議を開き、現状では一日六万七千立方㍍の不足水量があり、国管理ダムから一日四万八千立方㍍、残りの不足水量は、県民の節水努力に期待することにしていますが、その効果がない場合は、給水制限も考えられますので町民各位におかれても漏水がある場合、宅地外は町水道課に、宅地内については指定店に連絡するほか、左記のとおり節水にご協力下さいますようお願い申し上げます。

記

一、蛇口に節水ゴマを取付ける。
二、各自の給水施設を点検し漏水の防止又は漏水の早期発見、修理に努める。
三、洗車及び路上、農場、庭園等への散水の自粛。
四、水洗トイレのタンクにレンガや空ビン等を入れる。
五、洗濯のまとめ洗い、入浴のシャワー利用等、水の効率的利用を図る。
六、雑用水は、天水、地下水等の利用に努める。
七、給水栓からの流し放し防止を図る。
八、特に、大口需要家の節水その他、独自の節水方法の工夫を図る。

☆町水道課☎五―四九三四

若い男女の海外協力隊募集
国際協力事業団沖縄支部

国際協力事業団では開発途上国の国づくりの一環として青年海外協力隊員をアジア、アフリカ、中近東、中南米、太平洋地域等の国々に広い分野で技術協力をしており高い評価を受けている。

同事業団では本年度の青年海外協力隊春募集にあたり左記により説明会を実施することになっており、沖縄県内の若い青年男女の隊員を募集している。

記

一、行事名
青年海外協力隊春募集説明会

二、日時及び会場
○昭和62年5月11日（月）
午後6時～9時
国際協力事業団沖縄支部
○昭和62年5月14日（木）
午後5時～7時
西原町琉球大学学生会館

三、資格
満20歳～35歳の青年男女

四、派遣地域
アジア、アフリカ、中近東
中南米、南太平洋等（29ヶ国）

五、問合せ先
○沖縄県総務部知事公室
国際交流課☎66―2479
○国際協力事業団沖縄支部
☎68―0136

四月は地価公示普及月間

今年も四月一日に国土庁から昭和六十二年の地価公示が発表されます。

地価公示は、都市計画区域内の各地域で標準的な使われ方をしている土地（標準地）を選んでその標準地の適正な土地価格を公表して土地を売買する際の土地価格の目安にするものです。

又、国、地方公共団体等が公共用地等を買う場合の買取額の基礎とされたり、都道府県知事が国土利用計画法に基づいて土地売買の届け出があった場合の取引価格の審査をするときの規準とされます。

▼標準地は身近な所に
標準地は住宅地域でほぼ一平方キロ㍍に一地点、商業地域は〇・三平方キロ㍍に一地点の割合で選ばれているので平均すればどこからでも五百㍍以内という近い所にあることになります。

▼役場で自由に閲覧できる
標準地の価格、標準地が接する道路の種類、幅員、周辺土地利用状況等を記載した地価公示の関係書面は市町村の役場で誰でも自由に閲覧できることになっています。

民泊受け入れ家庭募集
友好を深める絶好の機会

第42回国民体育大会町実行委員会（平安恒政会長）では海邦国体成年男子バスケットボール競技に参加する県外からの選手、監督の民泊受け入れ家庭を募集しています。

ご承知の通り、本町の宿泊施設は皆無に等しく、参加者約二百七十人の宿泊を町民のご協力をいただき、一般家庭にお泊りいただく「民泊」をお願いしなければなりません。

町国体事務局においては、昨年十二月より今年二月までの間、民泊受け入れ家庭を募集しているところでありますが、二月末現在において、達成率五十％にも及ばない現状であり、その対策に取り組んでいるところであります。

「民泊」は、国民体育大会を支える大きな柱です。

全国から集まる選手と町民が友好を深め、本町を全国に紹介する絶好の機会として、町民の皆様の積極的なご理解とご協力をお願いします。

なお、民泊についての詳しい内容については、町国体事務局か各区事務担任者を通じてお問い合せ下さい。

※町国体事務局
☎五―五〇一一（内線三七）

国税ニュース
沖縄国税事務所・税務署

◎振替納税制度のご利用を
所得税の納税の方法に、振替納税の制度があります。

この制度を利用すれば納税のための手数が少なくて済みまた、うっかり納期限を忘れ滞納となってしまうこともなくなり大変便利です。

◎退職金と税
退職金には所得税と住民税がかかり、通常、退職金の支給を受けるときにそれぞれの税金が源泉徴収されます。

この退職金は、長い間の勤労の対価であり、また退職後の生活のためにも大切なものですから、これらを考慮して所得税や住民税は他の所得と分離して課税されるなど、他の所得より軽い負担で済むように配慮されています。

町税（固定資産税・町県民税・軽自動車税）未納の方は早目に納めましょう。
納付は　口座振替の御利用を！

国民健康保険被保険者証

３月いっぱいで切り替えを

あなたが現在使用中の国民健康保険被保険者証（手帳）は三月三十一日までしか使用できません。四月以降は、新しい被保険者証でしか受診できませんので次の通り新しい被保険者証に切り替えします。

記

場所　町役場国民健康保険課
時間　午前九時～午後四時
持参するもの
㈠現在使用中の被保険者証
㈡印鑑

▼注意事項▲

一、保険税未納の方は併せて納めて下さい。

二、昭和六十二年度の所得申告をしてない方は町税務課で申告し被保険者証を切替えて下さい。

三、家族の中で職場の健康保険に加入している方がおりましたら職場の保険手帳も持参して異動手続きして下さい。

四、㊀の手帳をお持ちの世帯は在学又は在園証明も持参して下さい。

五、切り替えは三月いっぱいで済まして下さい。

※詳しいことについては、町役場国民健康保険課まで。
☎五－五〇一一内線三五

国体コサージづくりスタート

町花（ブーゲンビリア）で歓迎しよう

町花(ブーゲンビリア)で国体コサージづくりをスタートした町婦人会＝２月19日、町中央公民館(指導者、新川千代子さん)

第42回国民体育大会町実行委員会（平安恒政会長）では海邦国体成年男子バスケットボール競技大会に向け、県内外から参加の選手、役員らを「手づくりの花で歓迎しよう」と町婦人会(玉那覇恭子会長)の協力を得て「国体コサージづくりを二月十九日よりスタートした。

このコサージは、町花のブーゲンビリアを造形したもので、本町を訪れる選手、役員の胸に飾られる予定。

コサージづくりは毎週木曜日午後八時より町中央公民館で行われ、六月までに六百個完成させることになっており指導に町社会体育指導委員の新川千代子さんが当っている。

なお、このコサージづくりに平安町長も訪れ、「国体成功に向け本町に訪れる選手や役員のみなさんが心暖まるお土産品として喜んでもらえるよう頑張って下さい。」と激励した。

＝老人保健法改正のおしらせ＝

老人保健法の改正により、昭和62年１月１日から老人医療費の一部負担金が変わりました。

		今まで	これから
外来	１月	400円	800円
入院	１日	300円(２ヶ月を限度)	400円(限度撤廃)

ただし、人工透析及び血友病で医療を受けている者で市町村長が交付する「老人保健特定疾病療養受療証」を所持した者は、10,000円を限度とする。

なお、老齢福祉年金受給権者で、その属する世帯の生計を主として維持する者が市町村民税非課税（均等割非課税）の場合又は市町村の条例により免除された者で、市町村長が交付する「入院時一部負担金減額認定証」を所持する者は１日300円で２ヵ月限度。

※改正内容、特に「老人保健特定疾病療養受療証」及び「入院時一部負担金減額認定証」の申請対象者及び申請手続き等の詳細については下記へ問い合わせて下さい。

▶問い合わせ先◀
西原町役場　保健衛生課　老人保健医療給付係(電話5－5013)

フォト・アイ

西原東小学校第４回学芸会のもよう＝２月８日、西原東小体育館

坂田小学校　昭和61学年度音楽発表会＝２月１日、坂田小体育館

移動納税相談所＝２月26日、27日　町役場２階会議室にて

西原小学校　昭和61学年度学習発表会＝２月１日　西原小体育館

駐停車違反等は二・五倍

四月一日より道交法改正

交通事故を減らし、安全な交通環境をつくるため、昨年道路交通法の一部が改正され四月一日から施行されることになりました。そこで、主な改正点を見てみましょう。

【違法駐車対策】

一、時間制限駐車区間が設けられ、パーキング・メーターのほか、パーキング・チケット制が取り入れられます。

二、違法駐車車両には、移動等をすべき旨のステッカーが貼られます。

三、違法駐車車両のレッカー移動が活発に行われます。

【罰金及び反則金】

罰金が二倍、反則金が約一・五倍に引き上げられ、特に駐停車違反の反則金の限度額は二・五倍に引き上げられます。

全国大会へ出場

坂田小女子ミニバスケット

全国ミニバスケットボール優勝大会へ出場する坂田小女子ミニバスケットチームのメンバー

坂田小学校ミニバスケット部（田場健造校長）の女子チームが来たる三月二十八日より東京都で開催される第三回全国ミニバスケットボール優勝大会へ出場する。

同チームは、結成されて一年半、久銘次利男監督のもとめきめき実力をあげ、昨年の県大会で準優勝、九州大会に出場。去る一月の第一回全島ミニバスケットボール選抜大会には見事、優勝を果し、今回の全国大会（東京都）出場のキップを手にした。

海邦国体成年男子バスケット競技大会が実施される本町にとってはバスケット競技で全国大会へ出場するチームは今回が始めてで、坂田小ミニバスケット女子チームの活躍が期待される。

昭和62年交通安全年間スローガン(子供向け)

「とび出すな」ぼくたちみんなの合言葉！

まなぶ町民・きょういく広場

団体・地域の活性化が課題
人間性豊かな文教のまちを目指し研究
第四回町社会教育研究大会

第４回町社会教育研究大会で社会教育振興の功績で個人９名５団体が表彰を受ける＝**２月21日、町中央公民館**

地域に根ざした社会教育の諸問題について町民で話し合い各種団体の連携を深め学習意欲を活発にし社会教育活動の強化を図ることを目的に昭和六十一年度の第四回町社会教育研究大会が二月二十一日午後二時より町中央公民館で開かれた。

大会は、町教育委員会（稲福恭助町教育長）主催で町内十五団体が後援、平安町長、親泊町議会議長をはじめ町民約二百名余が参加。第一分科（社会教育関係団体）、第二分科（青少年健全育成）、第三分科（社会教育施設）に分かれての分科会方式により行われ、開会行事では、喜納町社会教育課長の開会のあいさつの後稲福町教育長大会長あいさつ与那嶺町教育委員長あいさつ社会教育優良団体及び功労者の表彰、平安町長、親泊町議会議長の激励のあいさつ、分科会報告、アトラクションとして町少年少女演劇（じんぶんむちまちゃー）、記念講演に「地域公民館活動の活性化を図るには」と題し、仲地清雄先生（金武中学校長）の講演が行われた。

今回の大会テーマは「人間性豊かな文教のまちづくりをめざす西原町の社会教育」となっており、団体活動の活発化、青少年の健全行動を図る地域と家庭の取り組み、地域公民館の社会教育施設としての活動などを各分科会のテーマにあげ、町民が熱心に研究を深めた。

なお、社会教育優良団体並びに功労者は次の通り。

【優良団体】▽かもめ子ども会育成会▽町更生保護婦人会▽十六区老人クラブ▽町老人クラブ連合会▽坂田小ＰＴＡ

【個人功労者】▽喜納千代、上亀直一、新垣正広、大城静子、比嘉貞裕、新垣和男、外間俊夫、弓削次男、大城勝正（敬称略）

学習・実践のあり方学ぶ
第六回町ＰＴＡ研究大会

第６回町ＰＴＡ研究大会であいさつする新川町Ｐ連会長＝**２月28日、町社会福祉センター**

町ＰＴＡ連絡協議会（新川雅懼会長）では二月二十八日午後二時より町社会福祉センターにおいて第六回西原町ＰＴＡ研究大会を開催した。

大会は、青少年の健全な心身の発達と豊かな人間性の育成をめざし、町内各地域の情報を通して、家庭、学校、地域の一層の連携を図り、ＰＴＡが社会教育の中核団体として今日的課題を追求し学習、実践する活動のあり方を探究するのが目的で、町内小・中学校ＰＴＡの会員約八十人が参加して行われ、全員によるＰＴＡの歌斉唱、宮城西原東ＰＴＡ会長の開会のことば、新川町ＰＴＡ会長あいさつ、平安町長、稲福町教育長激動あいさつ、各学校ＰＴＡ研究発表、功労者表彰式、宮良芳先生による「子どもの心を読みとれる父母になるためには」と題する教育講演などを行い研究を深めた。なお、研究発表及び表彰者氏名は次のとおりです。

【研究発表】

西原小・呉屋光子「婦人部活動十年の歩み」

西原東小・上間明「広報委員会の活動」

坂田小・伊川幸子「基本的生活習慣を身につけさせる家庭教育と父母の役割」

西原中・上原光子「学推協における父母と教師による環境整備」

【表彰者氏名】

▽波照間永一（西中ＰＴＡ校外指導委員）▽呉屋光子（西小ＰＴＡ婦人部長）▽国島鈴子（坂田小ＰＴＡ成人教育副委員長）▽上間明（西原東小ＰＴＡ広報委員長）

日頃の活動成果を発表
第一回西原町音楽祭

第一回西原町音楽祭が三月一日午後二時より町教育委員会（稲福恭助町教育長）、町音楽祭実行委員会（岡田史明会長）主催で町立西原中学校体育館で開催された。＝**（写真）**

この音楽祭は学校教育と社会教育における音楽を愛する人たちが一堂に会し日頃の活動成果を発表し、お互いの交友を深め地域文化の発展に寄与するのが目的。

音楽祭は喜納社会教育課長の開会のことばで始まり①少年少女合唱団、西原中学吹奏楽部による西原町歌の斉唱②西原中学校吹奏楽部演奏③西原東小学校合唱部の合唱④坂田小学校、海勢頭愛さんの独唱⑤西原小学校音楽部の合唱⑥西原東小学校金管バンドの合奏⑦坂田小音楽クラブの合奏⑧西原中二年二組の合唱⑨西原中男声合唱団の合唱⑩ギターアンサンブルＧＥＮのギター演奏⑪西原中（宮城ありさ）さんのエレクトーン演奏⑫坂田小ＰＴＡコーラス部の合唱⑬西原町少年少女合唱団の合唱など日頃の活動成果を発表し、素晴らしい演奏や見事な歌声を披露、体育館を詰めた約一、四〇〇人の観衆より盛大な拍手を受けた。

また、稲福町教育長主催者あいさつや平安町長よりの祝辞も述べられ、最後に、「てんさぐぬ花」、「今日の日はさよなら」を全員で第二回音楽祭に向けて高らかに合唱した。

社交ダンス愛好者募集
町社交ダンス同好会

町中央公民館で活動する町社交ダンス同好会では、昭和六十二年度の会員を募集中。

町民の方で、社交ダンスに興味のある方、初歩から中級までの社交ダンスを身に付けたい方は、左記により申し込んで下さい。

記

一、募集対象
町内に在住する18歳～35歳までの男女。

二、活動日
毎週金曜日午後8時～10時

三、入会金及会費
入会金500円、月会費500円

四、申し込み方法
町中央公民館に受付簿を準備。（活動日は隋時受付）

※詳しくは、町中央公民館にお問い合せ下さい。
☎五一三六五七

わたしたちは、つねに学び、文化の高いまちをつくりましょう。（町民憲章より）

子供会の活性化で研修会

―町子連育成者・指導者―

子ども会活動の活性化で研修する各支部・育成者・指導者＝**２月27日、町中央公民館**

町子供会育成者連絡協議会（上亀直一会長）では二月二十七日午後七時より町中央公民館において昭和六十一年度子供会育成者、指導者研修会を行った。

研修会には、各支部子供会より育成者及び指導者約四十名が参加、上亀町子連会長のあいさつの後、県教育庁社会教育主事喜屋武昌信先生による「子供会活動の活性化を図るための育成者の役割について」と題する講演を受け、熱心な質疑応答を行い、町内の子供会の活性化を図る育成者の役割について学んだ。

その後、各支部育成者相互の親睦と交流を図る懇親会が持たれ意義深い研修会と今後の子供会活動の活性化を確認し合った。

ビデオ・講話で子育て学ぶ

六十一年度放送利用学級

家庭教育について熱心に学ぶお母さん＝**中央公民館にて**

町教育委員会（稲福恭助教育長）では、ビデオ教材や講話を通し、次代を担う子どもたちの家庭教育に必要な知識と技術を身に付けようと町内父母を対象に昭和六十一年度放送利用学級を開設している。

同学級では、家庭と子育て父親の役割、親子の対話、親と子の関係などをわかりやすいビデオ教材を通して学び、専門家の講話や学級生相互の話し合いを深める中で家庭における子どもの教育のあり方などについて学習している。

子ども達は、親のうしろ姿を見て育つと言われ、いかに親の生き方、姿勢が大切であるか、今後の父母の学習する姿勢が子ども達に大きな影響を及ぼすものと期待される。

国体に向け「土づくり」

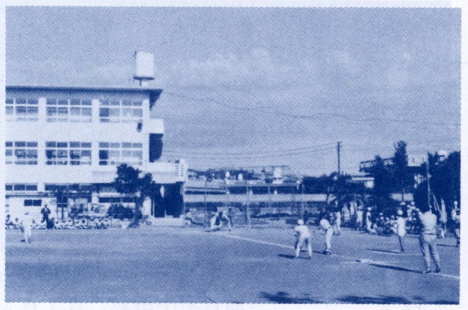
坂田通り会が講習会

坂田通り会では「花いっぱい運動」の一環に国体向けに土づくり講習会＝**２月25日、坂田小グラウンド**

坂田通り会（島袋義達会長）では、二月二十五日午前九時から「花いっぱい運動」の一環として通り会清掃と海邦国体に向けての「土づくり」講習会を会員二十人の参加により行った。同通り会では、これまでにも積極的に清掃運動や花づくりを進めて来ており、この日は県農林水産部中部農業改良普及所より二名の講師を招いて草花栽培に必要な土づくりについて学んだ。

土づくりは、坂田小学校の校庭の一角で行なわれ町より提供された三十個のプランターへの土入れを完了し草花の植え付けを待つのみとなった。

今年は海邦国体が開催されることもあり各地域において「花いっぱい運動」が展開されております。



Aブロック嘉手苅ブレーブス優勝

町ス少年団新人野球大会

町スポーツ少年団本部（稲福勇本部長）では、二月十四十五日の両日、西原小学校グラウンドにおいて第三十四回新人野球大会を開催した。（写真）

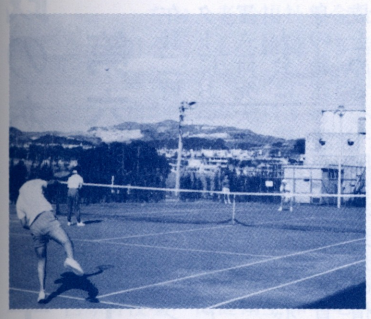
大会は、各スポーツ少年団の親睦と団員相互の連帯を目的とし九チームが参加、父母の声援を受け熱戦を展開。尚、結果は次のとおり。

▼Aブロック
優勝・嘉手苅ブレーブス
準優勝・坂田ハイツ

▼Bブロック
優勝・西原バッファローズ
準優勝・嘉手苅ブレーブス

五区Aチームに凱歌

第一回各区対抗テニス大会



町体育協会（平安恒政会長）硬式テニス部では、二月十五日午前八時半より第一回各区対抗テニス大会を町中央公民館、西原中学校、金秀鉄工、南西石油テニスコートにおいて十二チームの参加により開催した。

大会は、男子ダブルス、女子ダブルス、男女ダブルスの3ポイント、A・Bブロックリーグ戦により行われ熱戦を展開、決勝戦では五区Aチームと十区チームが対戦、二対〇で五区チームに凱歌。

NHK学園の通信講座で学習を！

NHK学園では、生涯学習講座の春の受講生と高等学校の生徒を募集しています。

▽生涯学習講座（通信講座）
教養と趣味を深めるための書道、硬筆、俳句、短歌、囲碁など32講座です。
申込受付　二月十五日～四月十五日

▽高等学校　普通科コース
四年間の学習で高卒資格が取得できます。
申込受付　三月一日～四月十五日

▽高等学校　教養コース
国語、英語など21科目を学習します。
申込受付　三月一日～四月三十日

▽海外在住者コース
海外在住の社会人、青少年が〈生涯学習講座×高校の教養コース〉を通信講座で学習します。
申込受付　二月十五日からです。

★詳しい案内書をご希望の方
お近くのNHKまたは〒一八六　東京都国立市富士見台二―三六NHK学園八E十一係に、講座名およびあなたの郵便番号、住所、氏名、電話番号をハガキに記入してご請求ください。

★電話受け付け　電話番号は〇四二五―七二―三一五一です。案内書は無料です。

寄付金

▽字幸地七九七―一番地翁長トヨさん八十五歳の生年祝を記念し町社協、町心身障害児（者）を育てる会へそれぞれ五万円。

香典返し

▽字棚原六五番地の城間明昌さん故祖父・盛次さんの香典返しとして町社協へ十万円。

第６回西原町子ども会発表大会：３月29日（日）、午後１時より町中央公民館